会　議　録

【事業番号９　協働のまちづくりチャレンジ事業費】

１　会議名　　平成 29 年度第３回市民行政評価委員会
２　日　時　　平成 29 年 10 月 11 日（水）午後３時 20 分～３時 50 分
３　場　所　　議会３委員会室
４　出席者
（１）市民行政評価委員会委員
　　岡田委員長、林委員、山崎委員、寺田委員、大家委員
　　喜成委員、西山委員、藤田委員、安田委員
（２）事業担当課（市民協働推進課）
　　南課長　橋爪係長
（３）事　務　局（行政経営課）
　　津田課長、松本課長補佐、島崎係長、古谷主査

５　審議内容

評 価 委 員　：　市広報・チラシ・ホームページの他、どのような手段で企画を募集しているのか。（事前質問）

事業担当課　：　Facebook でも募集をしている。また、市内に事務所を構えるＮＰＯ法人や、これまで当事業に採択されたことのある団体、協働登録団体など、当課に関係がある団体へは郵送でチラシを送付している。大学については、チラシを設置してもらえるよう事務局へ依頼し、学生のまち市民交流館を利用している学生団体にも応募してもらえるよう、同館のコーディネーターに働きかけてもらっている。

評 価 委 員　：　応募団体が平成 27 年度で 41 件、平成 28 年度が 21 件と減少しているが、平成 29 年度は何件だったか。過去に採択された団体について、アフターフォローはしているのか。

事業担当課　：　29 年度は 26 件の応募があり、採択数は 11 件である。採択団体へのフォローアップも行っており、現在も 58 団体が事業を継続している。

評 価 委 員　：　継続の 58 団体で他の団体にも影響を与えるような良い事例はあったか。

事業担当課　：　リサイクル部門や交通部門で様々な団体と連携を進めていると聞いている。

評 価 委 員　：　平成 28 年度の応募件数が 21 件に減った理由はなにか。

事業担当課　：　一度採択された団体の活動が軌道に乗ると、再度手を挙げなくなることが考えられる。

評 価 委 員　：　テーマが変われば何回でも応募できるのか。

事業担当課　：　２回までである。

評 価 委 員　：　この事業に終期はあるか。また、採択された団体にその後も支援できる補助的なメニューはあるか。

事業担当課　：　この事業は、終期は設定していない。また、今後は協働ということが大変重要になってくることから、裾野を広げながら続けていきたい。補助メニューは当課では設けていないが、市役所の様々な部署で多くの補助メニューがあるので、団体毎にテーマにあった補助メニューを利用するなどしていただきたい。各団体にはなるべく自立していただき、自主的な活動を通して発展していくと思う。

評 価 委 員　：　市民活動サポートセンターにコーディ―ネート機能はあるか。

事業担当課　：　学生・市民・地域団体の間を取り持つことに重点を置いて機能を考えている。

評 価 委 員　：　市の行政戦略をテーマ毎に提示し、団体にしっかり伝われば、事業が活性化し、いいアイディアが出てくるのではないか。

評 価 委 員　：　採択団体の企画内容に共同提案があるが、どういう経緯で共同化に至ったのか。

事業担当課　：　自主的に連携を取って共同したと考えている。

評 価 委 員　：　学生への周知の仕方を工夫して欲しい。

事業担当課　：　これからも研究していく。